

NPO 法人 青山デザインフォーラム主催

ミラノサローネ 2015 出品作品

照明デザインコンペティション



結果発表

「ミラノサローネ 2015 出品作品照明デザインコンペティション」にご応募頂きありがとうございました。

NPO 法人青山デザインフォーラムは、2015 年もイタリアミラノにて年に一度開催される国際家具見本市「ミラノサローネ」に会場設営することを決定し、会場に展示する作品（照明器具）を募集致しました。

今回、「和食を楽しむ空間にあう照明器具」のコンセプトに基づき応募頂いた沢山の作品について、厳正な審査を行いました結果 1 作品が最優秀賞、2 作品が優秀賞に選定されました。

以下、受賞が決まった 3 点の作品をご紹介します。

最優秀賞 (賞金 500,000 円)

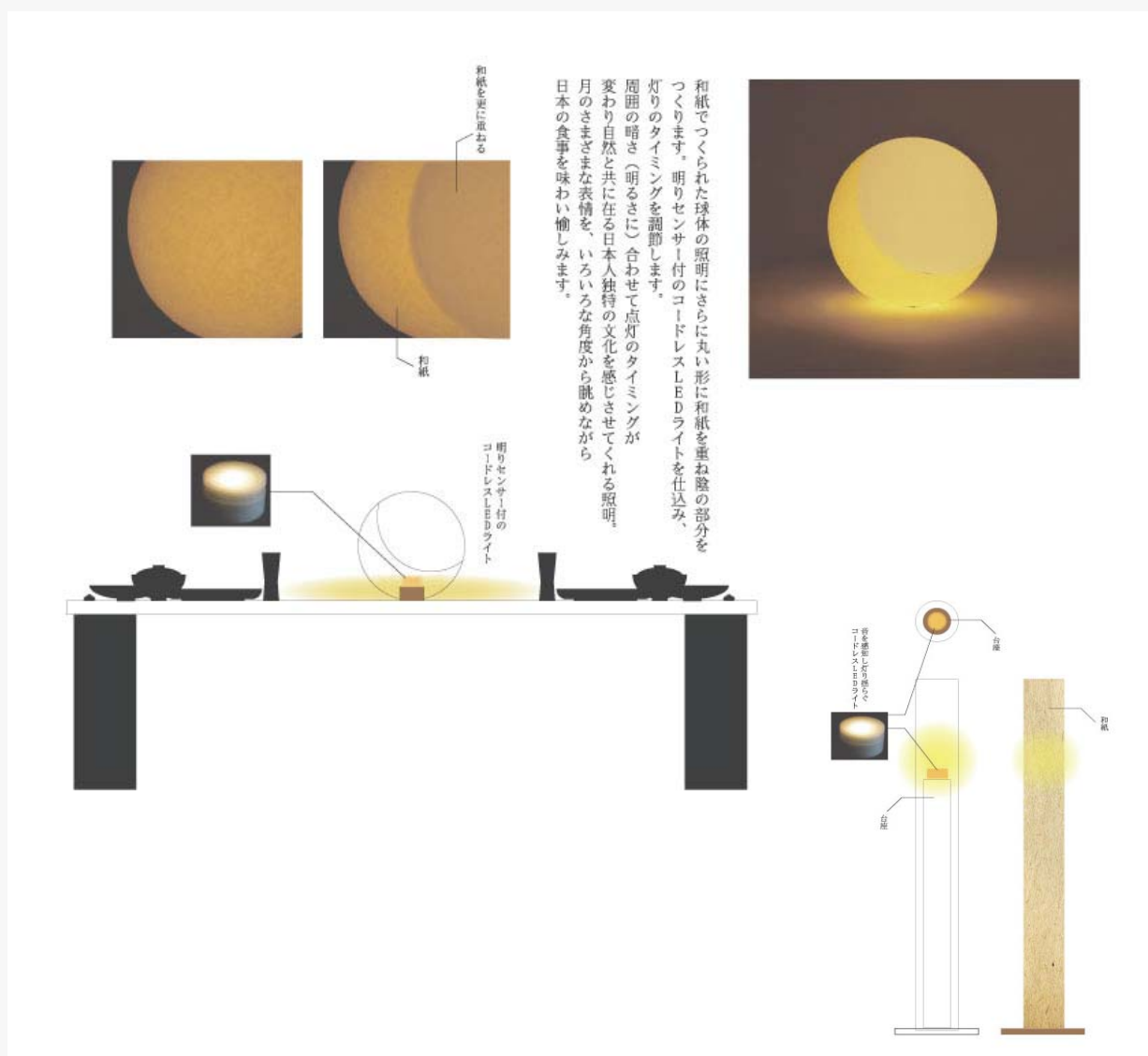
受賞作品	月灯り、夜噺
デザイン コンセプト	和食を楽しむ空間にあう照明器具。
受賞者	中村ちひろ

※応募作品の著作権は応募者に帰属します

「月」は、古来より、日によって姿を変えるところや、その不思議な魅力によって、私たち日本人の心に大きな影響を与えています。

「雪月花」「花鳥風月」「清風明月」など、四季の風景や自然の美しさを月という言葉で表現し、その美しい姿を愛でてきました。美術の世界においても、格好の題材となりその様相は極めて多彩で私たちを魅了し続けています。

ゆっくりと満ち欠けを繰り返す「月」本来の持つ自然と調和する美しさを感じられる照明で和の食卓を照らし、私たちの心も優しく包み込みます。



優秀賞 (賞金 200,000 円)

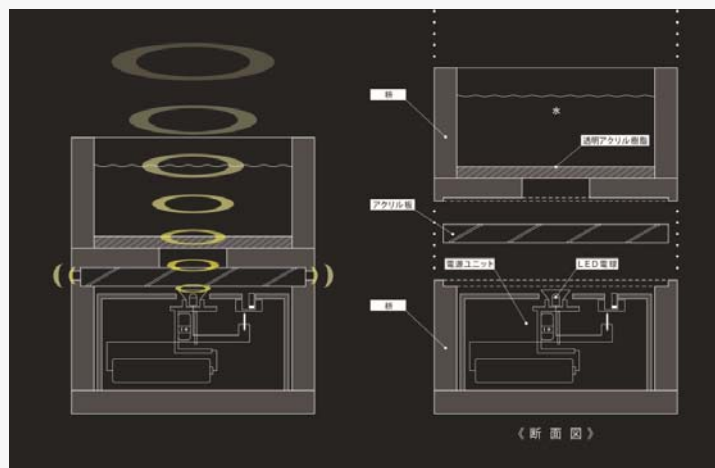
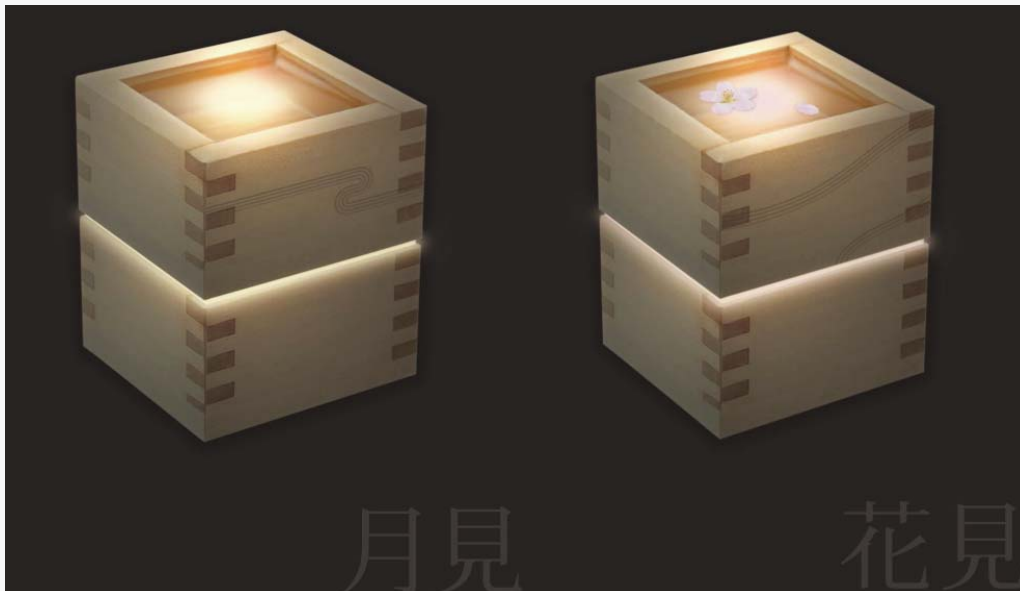
受賞作品	月見、花見
デザイン コンセプト	和食を楽しむ空間にあう照明器具。
受賞者	川田敏之

※応募作品の著作権は応募者に帰属します

日本は、その豊かな自然環境の中、四季の移ろいと共に食を楽しみ、また食の中にも自然の美しさを表現してきました。それは調理法であり、器、飾り、彩り、そして、その場の空間に至るまで。

自然を尊ぶ心、食に自然を和える日本の感性を、食の場を照らす、優しい自然の灯りで表現しました。tsukimi と hanami、

ただ見せるのではなく、見る側の心に問う灯り。ただ照らすのではなく、見る側の心を照らす灯り。構造は二個の枡とアクリル素材、電池式 LED 照明、そして水からなる至って単純なもの。上部の枡に水を汲むことで、水面にはほのかな灯りが浮かびます。



優秀賞 (賞金 200,000 円)

受賞作品	Lotus Light
デザイン コンセプト	和食を楽しむ空間にあう照明器具。
受賞者	三浦 慎也 (ATELIER SHINYA MIURA)

奥行きのある光のしずくが、やわらかくひろがる
テーブル照明です。

透明アクリル板(1mm)にレーザー加工で穴をあけ、
そこへカラーアクリルのピースをはめ込み、さらに
それらを7層重ねて、下面からLED光源により
照らし出します。カラーアクリルは複雑にかさなり、
上向きに光がこぼれ、遠くの風景を眺めるような
ひろがりある雰囲気テーブルにもたらしめます。
また和菓子などスイーツのディスプレイ台としても
機能します。

※応募作品の著作権は応募者に帰属します

